

IBS の主な研究活動 (2008 年度)

1. 自主研究

次の6つの分野において自主的な研究テーマを設定し、新たな研究の方向性を探ります。

- ① 交通計画の新たな方向に関する研究
 - ・郊外生活に提供されるべきモビリティと公共交通の役割に関する研究 など
- ② 地域開発・都市計画・都市開発に関する研究
 - ・国土マネジメントに関する研究
 - ・TODに関する研究 など
- ③ 社会調査技術・計量計画化技術の高度化に関する研究
 - ・渋滞現象を考慮した準動的交通配分モデルに関する研究
 - ・土地利用交通モデルの研究 など
- ④ 応用経済学に関する研究
 - ・将来交通需要予測のあり方に関する研究
 - ・交通サービスの公的供給のための費用便益分析に関する研究 など
- ⑤ 合意形成プロセスに関する研究
 - ・パブリックインボルブメントの推進に関する研究
 - ・対話型パブコメシステムの実用化に向けての研究 など
- ⑥ 持続ある成長に関する研究
 - ・環境、財政、少子高齢化等を考慮した都市社会システムに関する研究 など

2. 自主活動

- (1) IBS 研究発表会の開催
IBS 研究員による研究成果の発表会を7月17日に開催しました。
- (2) IBS フェローシップの実施
第14回として2名の委嘱研究者を決定し、7月17日に IBS フェローシップ発表会を開催しました。
- (3) 講習会の開催
 - ・エコ通勤推進のための職場 MM 技術講習会 (6月9~10日)
 - ・大規模開発地区関連交通計画セミナー (6月25日 (東京)、7月25日 (大阪))
 - ・公共事業における市民参画 (PI) の実践スキル 第4回 PI 講習会 (7月1日)
 - ・第5回総合都市交通計画研修 (10月9~10日)
- (4) 井上文庫 (仮称) の公開
故井上孝先生の蔵書を整理し、「井上文庫 (仮称)」

として公開の準備を進めています。

(5) 出版

- ・「大規模都市開発に伴う交通対策のたて方—大規模開発地区関連交通計画マニュアル (07改訂版) の解説—」を出版しました。

3. 国際・国内協力事業

(1) シンポジウム・セミナー・国際会議等の開催・協力

- ・「第3回日本モビリティ・マネジメント会議 (JCOMM)」後援 (7月4~5日、京都)

(2) 事業協力

「まちづくり月間」、「都市景観の日」、フィリピン NCTS 事業推進などへの事業協力、および IAESTE (国際学生技術研修協会) 研修生の受入を行っています。

(3) 学会等への協力・参加

関連主要学会への積極的な協力・発表・参加とともに、応用地域学会の事務局を務めています。夏季には大学より7名のインターンシップ学生を受け入れました。

(4) 都市計画 CPD 協議会事業への協力

都市計画 CPD 協議会に加盟し、事業運営に協力しています。

4. 資料情報収集・提供

都市・交通に関するデータ収集・提供を行うとともに、WEBにより情報提供を行っています。

5. 研究開発業務

都市、交通、地域経済、環境・資源、言語情報に関する基礎研究・手法開発・マニュアル整備等の研究開発業務を行っています。

6. 受託調査研究業務

総合交通体系調査研究をはじめ、IT 技術による政策評価、社会資本整備、プロジェクト評価、まちづくり、合意形成、低炭素社会、言語情報、システム開発等に関する受託調査研究業務を行っています。

7. その他

個人情報保護マネジメントシステム (JISQ 15001:2006) を確立し、「プライバシーマーク」の更新申請手続きを行っています (年度内取得予定)。